

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	4570201196
法人名	医療法人 与州会
事業所名	グループホーム やすらぎ
所在地	宮崎県都城市東町10街区18号 (電話) 0986-46-3730
評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎県宮崎市和知川原1丁目101
訪問調査日	平成 21 年 7 月 30 日

【情報提供票より】(平成 21年7月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	15 人	常勤 13 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 13.5 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有(35,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

(4) 利用者の概要(7月15日現在)

利用者人数	15 名	男性 2 名	女性 13 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	6 名
要介護5	2 名	要支援2	名
年齢 平均	87 歳	最低 78 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	柳田病院・柳田クリニック・安富歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、母体法人の病院に隣接し、同系列の病院やクリニック、介護老人保健施設と連携している。利用者も高齢化とともに介護度も重度化しているが、病院が隣接していることで、利用者、家族、職員も安心して、落ち着いた生活ができています。職員は、各自が「もう一人の家族」としての居室担当と、給食やレクリエーション等の各種委員になっており、チームワークのよい体制になっている。利用者は、安心して一人ひとりのペースで生き生きと笑顔のある日々を過ごしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	職員全員で話し合い改善に取り組んでいる。介護度が重度化しており、入浴をはじめ、利用者の安心、安全、安楽を目標に日々のケアに取り組んでいる。地域からの来訪者が訪ねやすい雰囲気づくりから、1階の玄関にインターホンと案内を取り付けることになっている。災害対策では、夜間の当直を想定した一人での避難訓練を、隣接する病院の看護師の協力のもと、連絡橋を使って実施している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で取り組み、評価を自分のこととして振り返り、課題を発見できる良い機会として捉え、評価を活かし、入居者本位のケアに取り組むようにしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は公民館長、民生委員、利用者、家族、市担当者の出席で2か月毎に行われ、外部評価や行事、日常の報告等を行い、活発な意見交換がなされており、意見や要望をサービスの質の向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	居室担当者が「もう一人の家族」として、利用者や家族と接しており、家族来訪時に状態を報告するとともに毎月のホーム便り、写真を載せた日頃の様子や行事案内と職員の異動、運営推進会議の説明と報告をしている。新しい職員の顔写真は家族に親しみを与えている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議で公民館長等にホームでの夏祭りや敬老会等の行事の案内や招待を行っている。また、地区のスーパーマーケットに買い物に出かけたり、家族や家族の友人等のキーボードの演奏やフラダンス、親子の合気道等を見物することが出来ている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人生の継続性の尊重、自己決定の尊重、地域と共にある暮らし」など6項目からなる事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所独自の理念は、日々のケアを基本として実践されている。特に重度化していく利用者の安心・安全については重視し、ミーティングで話し合い、気配り、目配り、見守りで事故のないよう日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議での公民館長等にホームでの夏祭りや敬老会等の行事の案内や招待を行っている。また、地区のスーパーマーケットに買い物に出かけたり、家族や家族の友人等のキーボードの演奏やフラダンス、親子の合気道等を見物することが出来ている。		地区広報にホームの理解を深めるために情報を載せる意向があり期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で取り組み、評価を自分のこととして振り返り、課題を発見できる良い機会として捉え、評価を活かし、入居者本位のケアに取り組むようにしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は公民館長、民生委員、利用者、家族、市担当者の出席で2か月毎に行われ、外部評価や行事、日常の報告等を行い、活発な意見交換がなされており、意見や要望をサービスの質の向上に活かしている。議事録も詳細に整備されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月報告書を持参しているため、市の担当職員に不明な点や相談したい時は気軽に電話や直接相談し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族来訪時に日頃の状況や金銭出納簿で残高を報告するとともに毎月のホーム便りで、写真を載せた日頃の様子や行事案内と職員の異動、運営推進会議の説明と報告をしている。新しい職員の顔写真は家族に親しみを与えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	居室担当者が「もう一人の家族」として、利用者や家族と接しており、家族来訪時に居室担当者等が要望等を聴き、運営推進会議でも家族から要望を出されることが多く、記録しており、職員ミーティングで議題とし、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が辞めるときは静かに去る努力をし、新しい職員とともに利用者に説明し挨拶をして納得してもらい、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	隣接病院での認知症介護や接遇の研修会に参加したり、また、資格取得のための研修参加へ便宜を図っている。また、外部研修の資料を全員に配り、研修報告をしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し、情報交換や勉強会に参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	病院や他施設からの急な入居が殆どで、利用開始になることが多い。入居後、職員は、安心・安全、事故の無いよう見守り、気配り、目配りで利用者の笑顔が見られるように寄り添うように努力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と一緒に花の水やりをしたり、家事や掃除、料理の味見をしてもらったり、歌を歌い、話を聞いたりしながら、ともに生活しながらケアに取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室担当者を中心に職員は、本人や家族の訴えや希望、様子観察をケア記録に記載し、申し送り情報共有し、管理者・ケアプラン担当者も面会時や家族からの申し出の際に意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ミーティングで職員全員で話し合ったり、居室担当者も一人の家族のように利用者や家族の相談や希望を聞いているので関係者と共に意見やアイデアを出し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日のケア記録は介護計画を視野に記録され、経過も毎月きちんと整理されているが、モニタリングとしては3か月ごとに記録されている。また、状態に変化が生じたときはその都度見直しを行っている。	○	状態に変化がないようでも、居室担当者の気づきや状況、本人・家族の意向や要望を確認しながら関係者と話し合い、経過を基に月に1回は評価と介護計画の見直しをしてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制で24時間の健康管理と協力医療機関の医師による往診を受けており、家族が受診できない時には眼科などの受診の支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在同法人病院からの入居者が殆どで、職員が受診に同行したり、月2回往診を受け情報交換を行い、歯科は往診を受けたり、家族と一緒に受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、重度化した場合や終末期については説明している。また常に家族に連絡をしているので、重度化した場合は、医師や看護師より病状の説明と今後の方向を話し合い、職員も情報を共有しながら受け入れる体制はできている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者を人生の先輩として常に尊敬の気持ちで接するように心がけ、言葉づかいや対応も丁寧で、書類等の取り扱いにも配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	かけ算の好きな人に問題をつくり、ゴッタンを弾き唄いながら踊りを見せて下さる人や観葉植物や戸外の花に水をかける人、その時々々に一人ひとりに応じた支援の手を差し伸べている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が「ご馳走ではないが年寄り好みの料理で本当に美味しい」と美味しそうに食べ、職員は利用者の状態に応じ、ミキサー食でも食材の説明をしながら介助をしたり、さりげなく口元を拭いたりして、利用者の食後に同じ食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的に週3回と決めてあるが、希望があれば何時でも対応できる。また、拒否される時は無理強いないで気分転換をはかりながら本人の希望に添うように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や能力に応じて、かけ算やぬり絵をしたり、洗濯物たたみ、新聞紙をたたむなど職員と一緒にしたり、家族や家族の友人等のボランティアの協力でキーボードやフラダンス、ギターなど気晴らしの支援もなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所のスーパーへ買い物に出かけたり、大型店に車で出かけ待っていた家族と一緒に買い物を楽しんでいる。年間行事として初詣や花見等季節ごとに出かけるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2～3階が居室になっており、外出はエレベーターを利用している。現在、帰宅願望の人がエレベーター前によく立っているいるので事故防止のために鍵をかけている。外からは自由に入ることはできるので、乗り込むのではと目がはなせない。	○	安全面の課題もあるが、あきらめずに鍵をかけないケアの取り組みの工夫を重ねてほしい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は消防署や業者立会いで年2回行い、夜間の当直者一人を想定し、隣接する病院と共同して避難訓練を実施したり、消火器を使つての訓練を行っている。隣接病院との連絡橋も整備され協力が得やすくなっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂食状況に応じ、食べやすく刻んだり、ミキサー食としたり、摂取量と体重を記録して健康維持管理に努めている。栄養バランスやカロリーについては病院の管理栄養士に相談している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や廊下は明るく窓から遠くの方を眺め、廊下に観葉植物が置かれ絵画や写真も飾っており、利用者は料理の匂いの中で、手すりを伝い散歩と称して歩いている人もいて、居心地良く過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には時計やテレビ、家族の写真、手作りのカレンダーが掛けてあり、カーペット、ベッドやソファ、ダンス等使い慣れたものを持ち込み、トイレも設置されいて、居心地良く過ごせるように工夫されている。		